

平成 28 年 2 月 10 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 長野県屋代高等学校 手塚 理実
2. 講師氏名: Marian MATEJDES 博士 (Mr.)
3. 同行者氏名: 長下 敬 様 (学部3年)
4. 実施日時: 平成 28 年 2 月 3 日 (水) 11:00~ 12:30
5. 参加生徒: 2年生 38人、 1年生 1人、 3年生 1人 (合計 40人)  
備考: (例:理数科の生徒) 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文) possible utilization of newly discovered materials  
(和文) 新しい化学材料の利用
7. 講演概要:  
材料工学の昔の話から現代へ。エアロゲルやカーボンナノチューブ、超合金、発砲金属、アモルファス金属やメタマテリアルなどの新しく発見された材料の特性や考えられる利用についての紹介。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 10 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演 実験・実習は無し
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
同行者および本校英語教諭によるサポート
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
なし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: